



2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）

・平和派遣事業については、中学生をピースメッセンジャーとして被爆地に派遣するとともに、F C東京と民間事業者との連携の下、市内の小学生をピースメッセンジャージュニアとしてF C東京のアウェイゲームとあわせて、各地に遺る戦跡巡りなどの平和学習に取り組み、その学びや平和への想いを広く市民に発信し、施策の成果向上につなげた。また、これまで任命した中学生のピースメッセンジャーが継続的に平和活動に取り組む場として、子どもたちの発意により令和5年度から「ちょうふピース部」の活動を開始した。引き続き、子どもたちの被爆地等への派遣を継続的に実施し、平和の尊さを学ぶ機会を創出するとともに、「ちょうふピース部」の活動支援や活躍の機会づくりを通して、平和の尊さを次世代へ継承する取組を推進する。多摩地域の26市で構成する多摩地域平和ネットワークが令和5年度に発足され、市民一人一人が日常の中で平和を考え行動する意識を根づかせるため、自治体間相互の情報共有、情報交換を通じて、多摩地域全体で平和文化のさらなる振興を図る。

・国際交流事業においては、これまで調布市国際交流協会が実施していた事業を（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団に継承し、円滑な運営に向けた各種調整を行った。引き続き、外国人が暮らしやすい環境づくりに向けて、日本語学習支援や各種相談支援等に取り組むとともに、国際交流・多文化共生の取組のより一層の充実を図る。

（注）本表は、令和5年度実績を基に作成したもので、令和6年度実績は、令和5年度実績を基に推定したものである。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合	%	76.5 令和4年度	67.2	61.4	57.6	90.0 令和8年度	▼	・昨年度の実績値を下回り目標値も未達成であったが、戦争体験者が年々減少しているため、戦争に関する話を聞く機会そのものが減少していることが大きな要因と考えられる。 ・今後は、平和祈念事業におけるF C東京との連携やピースメッセンジャーやちょうふピース部の活動など、より多くの市民に関心を持っていただけるよう、SNSやデジタルアーカイブ等を活用した効果的な情報発信に取り組み、平和について考え行動する市民の増加を目指す。
国際交流・多文化共生事業の実施数	件	21 令和3年度	29	31	33	26 令和8年度	◎	・令和6年4月からは事業を実施していた調布市国際交流協会は（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団国際交流センターとして、財団既存事業と連携しながら、国際交流・多文化共生の更なる推進に取り組む。
国際交流協会会員数	人	454 令和3年度	511	526	545	700 令和8年度	○	・国際交流センターを通じ、会員はもとより、非会員を含めた国際交流の更なる推進に取り組む。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■16-1 平和社会の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
55	平和祈念事業の実施	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・ピースレターちょうふ発行 ・調布市平和展開催 ・被爆地への派遣事業の実施（広島） ・FC東京アウェイゲームとあわせた平和派遣事業の実施（京都） ・平和首長会議・日本非核宣言自治体協議会との連携 ・派遣後のピースメッセンジャーの活躍の場づくり ・平和都市宣言パネルの更新（金子、緑ヶ丘、菊野台、入間、深大寺） ・ちょうふピース部の活動支援 ・ちょうふピース部沖縄派遣事業（市制施行70周年記念事業・戦後80年事業） ・Chofu Peace Library～調布市平和デジタルアーカイブ～の開設（戦後80年事業、調布市国際交流平和都市宣言35周年記念事業） ・調布っ子“平和なまち”絵画コンテストの実施	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・ピース・レターちょうふの発行 ・調布市平和展の開催 ・被爆地等への派遣事業の実施 ・FC東京アウェイゲームとあわせた平和派遣事業の実施 ・平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク ・派遣後のピースメッセンジャーの活躍の場づくり ・ちょうふピース部活動支援等 ・Chofu Peace Library～調布市平和デジタルアーカイブ～の更新 ・調布っ子“平和なまち”絵画コンテストの実施

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①図書館において、生涯学習団体との共催で平和祈念読書会を2回実施したほか、7月～9月に「戦後80年 語り継ぐ戦争」をテーマとした関連図書の展示を行った。	①図書館において、今後も平和祈念事業を実施し、平和の尊さの理解促進を図る。

■16-2 国際交流の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
56	国際交流の推進	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・国際交流の推進 ・外国人支援の推進 (1) 外国人専門家相談会の実施 (2) 「やさしい日本語」活用促進	☐ 現状継続 ☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・国際交流の推進 ・外国人支援の推進 (1) 外国人専門家相談会の実施 (2) 「やさしい日本語」活用促進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①「CIFA FRIENDSHIP DAY 2025～深めよう、世界との絆、調布から～」の実施 ②在日サウジアラビア王国大使館訪問	①隔年実施のため、次回の開催に向けて、CIFAとの情報共有を図る。 ②事業継続に向けて、今後も大使館と調整を図る。

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点から、デジタル技術を活用した資料の保存や、映像配信等のデジタル技術を活用した事業展開について検討する。【令和8年度】	・多角的な発信力を持つFC東京等との連携による事業を推進し、より広く市民が戦争・平和について関心を持ち、取組に参加する機会を提供することができるよう検討する。【令和8年度】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
・地球温暖化対策は全人類共通の喫緊の課題であることから、国籍等に関わらず、地域における脱炭素社会の実現に関する理解の醸成に向けて検討する。【令和8年度】	・国籍等に関わらず、相互理解を通じて、災害時の避難所運営等における様々なフェーズフリーの考えにつながるよう施策を推進する。【令和8年度】 ・多文化共生を推進する観点から、平時の施策の推進がフェーズフリーへとつながる考えについて、理解の醸成に向けた取組を検討する。【令和8年度】